

○三陸北部森林管理署久慈支署の「採材検討会」に参加しました。

青森事務所では毎年、各森林管理署等の採材現地検討会に参加し、技術指導や情報提供など行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するように努めています。

平成28年6月29日(水)から7月1日(金)にかけて、3日間で3箇所連続の採材現地検討会が開催されたため、その2日目として6月30日(木)は三陸北部森林管理署久慈支署管内の遠島山国有林で開催された採材検討会に、青森事務所から3名が参加してきました。

検討会前には最近話題の「野田バイオマス発電所」を視察してから、「山根温泉べっぴんの湯」駐車場で待ち合わせた後に現地へ向かい、総勢約40名の参加者による検討会でした。

三陸北部森林管理署久慈支署管内の造林地はスギとカラマツ及びアカマツが大部分を占めますが、今回の検討会ではカラマツの採材について検討しました。

カラマツ3本の全幹材について、参加者全員で採材検討した後、実際にプロセッサを使って玉切りし、一本一本採材の考え方等について意見交換を行いました。

青森事務所からは最近の情勢を踏まえた採材の指導及び情報提供と、最後に労働災害対策を含めた講評を話させていただきました。

青森事務所では今後も国有林材の有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。



検討会前の「野田バイオマス発電所」視察の様子